



5月の園だより

学校法人志賀学園
松の実こども園
令和6年5月1日

新緑の若葉がまぶしい季節になりました。

さわやかな風の中、こいのぼりが元気よく大空を泳ぐ姿を見て、子どもたちは大喜びです。いつもこの時期、新しい環境に泣いて登園してくるお子さんに、「こいのぼりさんが待っているからね!」と伝えると、楽しみに来てくれるようになります。

5月5日は「こどもの日」です。もともとは「端午の節句」と言い、男の子の健やかな成長や幸せを祝ってお祝いする日でした。女の子は「桃の節句」でしたが、1948年に5月5日を「子どもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに母を感謝する」という趣旨で祝日と決められてから「こどもの日」になったそうです。

さて、先日の保育参観はいかがでしたか。通常保育になったばかりで、子どもたちも少しずつ新しい環境のペースをつかんできたところです。さくら組さんは、畑にじゃがいもの種芋を植えたり、プランターの草花や虫に興味を持ち始め図鑑で調べたりしていましたので、好きな花の種植えに取り組む様子をご覧いただきました。Hくんは、「百日草の種って葉っぱみたい!」と意外な形に驚いていました。これから一人ひとり自分の鉢に水やりをして育てていきます。成長していく過程では、様々な発見に出会うことでしょう。花が咲きましたら、いろいろな遊びにつなげていく予定です。すみれ組さんは、デカルコマニーで蝶々を作りました。お部屋や廊下のちゅうりっぷ畑に、自分で作った蝶々を飛ばしながら貼りました。明るく華やかな雰囲気になり登園が楽しみになったことと思います。ばら組さんは、大好きな「どんな色がすき♪」の歌をうたいながら、ペープサートで色当てゲームをしました。これからクレヨンに関心を示してお絵描きをしたり、自由に遊べるお気に入りの教材の1つになることでしょう。

0・1・2歳児さんは、お母さんから離れるのが寂しくて泣いていた新入園児のお子さんも、少しずつ少しずつ泣く時間が短くなってきています。抱っこしたり、好きな遊びに取り組めるよう環境を整え、安心・安定した気持ちで生活できますよう、お子さんの気持ちに寄り添って参ります。

また、父母の会総会にご参加いただきありがとうございます。新しい父母の会会長様・執行部役員様も決定し、これから保護者の皆様にはこども園に対しまして、何かとお世話になります。ご理解とご協力くださいますよう宜しくお願い申し上げます。5月の連休は、これまでの生活のリズムを崩さないよう、「早寝・早起き・朝ごはん」でお過ごしいただき、元気に登園してきてくださることを願っております。